

全校生徒参加の校内ミニビブリオバトルの企画

福井県立若狭東高等学校

活用目的	読書指導	利用指導	
------	------	------	--

本事例のねらい	図書委員会と図書館が協力して生徒に本を読むきっかけを提供し、本の紹介を通じて他者への理解を深めるとともに自己肯定感を高め、生徒の自主的な読書活動を展開させる。
---------	---

本事例の概要（学校図書館等を活用した項目に★印）

- ★(1) 全校生徒参加による校内ミニビブリオバトルの企画
 - ・読書する習慣がない生徒が多い現状を打破するために図書委員会と協議し、LH時間を活用して各クラスで全員参加の「ビブリオバトル」を実施することを決定。ルールは、正規のルールを大幅に簡略化することで抵抗感をなくすよう心がけた。進行は図書館からリモート配信し、担任の負担も減らした。
 - ・全校集会の時に、ビブリオバトルの意義やルールを学校司書が説明し、全国大会の発表動画も紹介。学校ポータルサイトにも資料を掲載した。さらに、ミニビブリオバトル前に朝の読書週間を10日間設定して、読書の時間やワークシート記入などの準備時間とした。
- ★(2) 図書委員による日常的な読書推進活動
 - ・図書委員がおすすめ本の選定や特集コーナーの企画、展示用ポップの作成、朝読文庫用図書の管理、ミニビブリオバトル開催の告知ポスターを作成。また、図書館へ足を運ぶきっかけ作りとして、図書委員会と吹奏楽部のコラボ企画『ライブラリー・ライブ(図書館で音楽会)』を学期毎に開催し、多くの生徒が図書館に訪れている。

全校集会で説明	ミニビブリオバトル様子	ミニビブリオバトル若狭東高校ルール
		<p>若狭東高校ルール</p>  <ol style="list-style-type: none"> ①読んで面白いと思った本を持って集まる。 ②順番に1人※2分間で本を紹介。(4~5人 1グループ) ③それぞれの発表後に、班の中でその発表に関する質疑応答を1分間行う ④全ての発表が終了したら、班の中で「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を1人1票で行い(せーので指さしする)、最多票を集めた本をチャンプ本とする

本事例に関わった人(いる場合は○を選択してください)	実践のポイント
<input checked="" type="radio"/> 学校司書 <input checked="" type="radio"/> 司書教諭 <input checked="" type="radio"/> その他の学校職員 <input type="radio"/> ボランティア <input type="radio"/> 公共図書館職員 <input type="radio"/> その他 (その他の具体的内容を入力してください)	<p>(1) ルールを簡略化したことで、企画に対する心理的ハードルが下がり、本の紹介を通じて人前で自信を持って発表したり、他者の発表をしっかりと聞いて理解しようとする姿がみられた。実施後の生徒アンケートでは多くの生徒から肯定的な意見が寄せられ、全体として好評を得た。</p> <p>(2) 図書委員会から意見を聞くことで、生徒が楽しめる読書活動となっている。</p>

資料	【図書館版】『ビブリオバトルを楽しもう ゲームで広がる読書の輪』 谷口忠大 監修 2014年 さ・え・ら書房
----	---